

銘柄紹介

中村超硬 [6166・100 株] 6月24日 東証マザーズ市場上場

2015年6月4日(木)
更新: 18時14分
株式会社フィスコ

電子材料スライス加工関連の再生案件

投資スタンスと初値メド

ブックビルディング参加	
初値投資	
初値メド	

市場の注目度	
想定仮条件レンジ	1540円～1640円
予想PER	6.4倍(連)～6.8倍(連)
予想トレーディングレンジ 期間: 上場後1年を想定	1500円～2500円
予想PER	6.2倍(連)～10.3倍(連)

印は5段階評価

日程

仮条件提示	6月4日
ブックビルディング期間	6月8日～6月12日
公開価格決定	6月15日
申込期間	6月16日～6月19日
払込日	6月23日
上場日	6月24日

類似会社 3社

平均PER	15.6倍	3,779円
旭ダイヤモンド<6140>	18.9倍(連)	4,578円
コンセック<9895>	19.7倍(連)	4,772円
第一カッター<1716>	8.2倍(連)	1,986円

(PERは6月3日現在の会社側予想ベース)

電子材料スライス周辺事業、特殊精密機器事業、化学繊維用紡糸ノズル事業を展開する。太陽電池やLED、パワーデバイスなど、今後のエネルギー関連業界で需要が伸びると予測される各種電子材料ウエハの製造工程で重要な「スライス加工」で使用するダイヤモンドワイヤの開発・製造・販売などを行っている。

想定仮条件水準はバリュエーション面で割安感があるものの、公開規模が大きいことに加え、ベンチャーキャピタル保有比率が高いことから、需給懸念が強まるだろう。産業革新機構が大株主の再生案件で、太陽電池関連ビジネスの動向などリスク要因も多い。

公開規模については30億円強となる見込みで、マザーズ案件としては大型に位置付けられる。ベンチャーキャピタル保有比率も27.9%と高く、需給面の懸念材料は多い。



新規公開株レポート

銘柄紹介

中村超硬 [6166・100 株] 6月24日 東証マザーズ市場上場

2015年6月4日(木)
更新：18時14分
株式会社フィスコ



新規公開株レポート

業績推移 (百万円・%)						
決算期	売上高	伸び率	経常利益	伸び率	純利益	伸び率
2011/3	4,213	—	170	—	190	—
2012/3	4,219	0.2%	55	—	136	—
2013/3	3,278	-22.3%	534	—	593	—
2014/3	2,440	-25.5%	399	—	402	—
2015/3 見	-	—	-	—	-	—

連結業績推移 (百万円・%)						
決算期	売上高	伸び率	経常利益	伸び率	純利益	伸び率
2013/3	4,453	—	435	—	492	—
2014/3	3,617	-18.8%	415	—	423	—
2015/3 見	5,123	41.6%	926	—	1,077	—
2016/3 予	6,674	30.3%	1,017	9.8%	943	-12.4%
2014/12 3Q	3,630	—	707	—	861	—
予想 EPS / 配当	単独:-円 連結:242.23円(上場時発行済株式数で試算) / 0.00円					

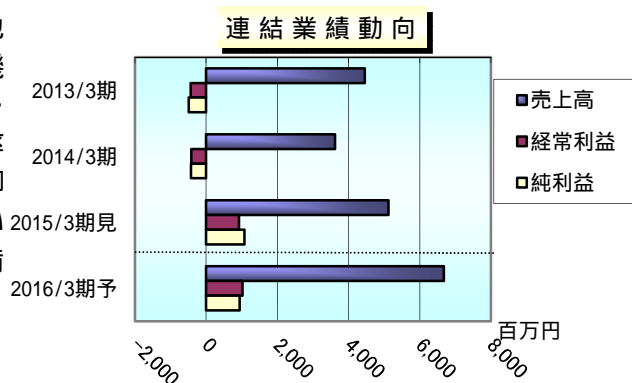
業績コメント

2015年3月期の業績は、売上高が前期比41.6%増の51.2億円、経常損益が前期の4.1億円の赤字から9.2億円の黒字に転換したと見込まれている。

電子材料スライス周辺事業の足元の動向は、世界の太陽電池設置量が堅調に推移する傾向にある。さらに、太陽電池パネルの製造工程の1つであるシリコンウエハのスライス加工方法が、遊離砥粒方式から固定砥粒方式にシフトが進んだこともあり、ダイヤモンドワイヤの販売は太陽電池向けを中心に大きく増加した。特殊精密機器事業では、実装機業界においてはスマートフォンやタブレット市場は高い成長率を維持しているが、他の分野への投資は抑制傾向が続いている。工作機械業界においては、一時の最悪期を脱しつつあり、設備投資機運が高まりつつある。

このような環境のもと、同社グループは生産の効率化を推進し、固定費の削減によって損益分岐点の引き下げを行い、損益構造の改善に努めている。

なお、2016年3月期の通期予想は売上高が前期比30.3%増の66.7億円、経常利益が同9.8%増の10.1億円と、増収増益を見込んでいる。



銘柄紹介

中村超硬 [6166・100 株] 6月24日 東証マザーズ市場上場

2015年6月4日(木)
更新：18時14分
株式会社フィスコ



新規公開株レポート

基本概要	
所在地	大阪府堺市西区鶴田町
代表者名(生年月日)	代表取締役社長 井上誠(昭和29年5月11日生)
設立	昭和45年12月21日
資本金	13億187万円(平成27年5月21日現在)
従業員数	新規上場会社137人 連結会社209人 (平成27年4月30日現在)
発行済株式数(上場時)	3,893,000株(予定)
公開株式数	公募600,000株 売出1,353,000株 (オーバーアロットメントによる売出292,900株)
想定公開規模	34.6億円～36.8億円(OA含む)
事業内容	電子材料スライス周辺事業、特殊精密機器事業、化学繊維用紡糸ノズル事業

売上高構成比率 (2014/3期実績)		
品目	金額	比率
電子材料スライス周辺事業	1,655 百万円	45.8 %
特殊精密機器事業	788 百万円	21.8 %
化学繊維用紡糸ノズル事業	1,173 百万円	32.4 %
合計	3,617 百万円	100.0 %

幹事証券団 (予定)			
	証券会社名	引受株数	引受シェア
主幹事証券	野村證券(株)	未定	未定
幹事証券	SMB C日興証券(株)	未定	未定
幹事証券	いちよし証券(株)	未定	未定
幹事証券	エイチ・エス証券(株)	未定	未定
幹事証券	エース証券(株)	未定	未定
幹事証券	岩井コスモ証券(株)	未定	未定
幹事証券	岡三証券(株)	未定	未定
幹事証券	高木証券(株)	未定	未定
幹事証券	(株)SBI証券	未定	未定
幹事証券	マネックス証券(株)	未定	未定

銘柄紹介

中村超硬 [6166・100 株] 6月24日 東証マザーズ市場上場

2015年6月4日(木)
更新：18時14分
株式会社フィスコ



新規公開株レポート

大株主上位10位

順位	株主名	保有株数	保有シェア
1	株式会社産業革新機構	830,000 株	24.41 %
2	井上 誠	440,920 株	12.97 %
3	ジャフコV1-B号投資事業有限責任組合	355,000 株	10.44 %
4	株式会社ナカムラコーポレーション	329,000 株	9.68 %
5	井上 阿佐美	317,580 株	9.34 %
6	ジャフコV1-A号投資事業有限責任組合	213,000 株	6.26 %
7	ジャフコV1-スター投資事業有限責任組合	142,000 株	4.18 %
8	井上 紘章	92,500 株	2.72 %
8	井上 絢哉	92,500 株	2.72 %
10	野村證券株式会社	70,000 株	2.06 %
10	りそなキャピタル株式会社	70,000 株	2.06 %
合計		2,952,500 株	86.84 %

その他情報

手取金の使途	<p>今後見込まれる主要顧客からの需要拡大及びその他取引先への販売増加に備えることを目的として、全額を増産に対応するためのダイヤモンドワイヤの製造設備等への投資に充当する予定。</p> <p>具体的には、和泉工場D-Nextにおけるダイヤモンドワイヤ製造設備の増設に伴う付随設備費(廃水処理システム及び監視システム等)、機械購入費用及び工事費用に充当し、残額は、ダイヤモンドワイヤの増産に対応するための当社新工場の開設に伴う機械購入費用、工事費用及びその他製造に伴う付随設備費の一部に充当する予定。</p>	
関係会社	<p>日本ノズル株式会社(連結子会社)化学繊維用紡糸ノズル事業 無錫力宏噴糸板貿易有限公司(連結子会社)化学繊維用紡糸ノズル事業 上海那科夢樂商貿有限公司(連結子会社)特殊精密機器事業 中超住江デバイス・テクノロジー株式会社(持分法適用関連会社)電子材料スライス周辺事業</p>	
VC売却可能分(推定)	1社 30,000株(売出し・保有期間などの制限があるもの以外)	
直近有償第三者割当	年月日	-
	割当先	-
	発行価格	-

中村超硬 [6166・100 株] 6月24日 東証マザーズ市場上場

2015年6月4日(木)
更新：18時14分
株式会社フィスコ



銘柄紹介

同社は(1)電子材料スライス周辺関連、(2)特殊精密機器関連、(3)化学繊維用紡糸ノズル関連の開発・製造・販売を主な事業として取り組んでいる。2015年4月30日現在の子会社数は3社、関連会社数は1社となっている。

(1) 電子材料スライス周辺事業

同事業は、太陽電池やLED、パワーデバイスなど、今後のエネルギー関連業界で需要が伸びると予測される各種電子材料ウエハの製造工程の中で重要な工程といえる、スライス加工で使用するダイヤモンドワイヤの開発・製造・販売を行っている。

太陽電池向けダイヤモンドワイヤの販売は、太陽電池用シリコンウエハの加工企業向けに同社製ダイヤモンドワイヤ「DINA-PRISM」を販売するものである。ダイヤモンドワイヤとは、細いピアノ線にダイヤモンドの粒を強く固定した糸状の工具であり、太陽電池の業界ではシリコンウエハの低コスト化をもたらす新しいスライス加工手法に用いられている。

同事業で開発・製造・販売するダイヤモンドワイヤによるスライス加工は固定砥粒方式と呼ばれ、ダイヤモンド砥粒がワイヤーに強固に固定されており、ワイヤーの走行によりダイヤモンド砥粒が直接的にシリコンを削るため切れ味が鋭く、従来方式と比べて加工速度が向上する技術である。付随する効果として、固定砥粒方式ではワイヤーの使用量も少なくなることから産業廃棄物が減少する。また加工液は従来方式の油に対し水を使用するため、コストと環境負荷の低減にもつながる。さらに大きなメリットとしてダイヤモンド砥粒がワイヤー自体を削ることがないため、従来の遊離砥粒方式よりワイヤーそのもの

を細くすることが可能であり、カーフロス（加工速度の向上）と「カーフロスの低減」を低減することで切り出せるウエハの枚数を増やすことが可能である。このような「加工速度の向上」と「カーフロスの低減」により、従来の遊離砥粒方式と比較して生産性が向上するため、太陽電池市場ではダイヤモンドワイヤの需要が増大している。

(2) 特殊精密機器事業

同事業は、ダイヤモンドや超硬合金、セラミックスなど耐摩耗性の高い硬脆材料を用いた特殊精密部品、工具の開発・製造・販売を行っている。同事業における主要な製品は、自動車部品やベアリング製造用工作機械に用いられるダイヤモンド部品、液晶テレビやスマートフォン、タブレット等の電子機器の製造に欠かせない電子部品実装用の産業機械に用いられるダイヤモンドノズルといった部品である。

(3) 化学繊維用紡糸ノズル事業

同事業は、主に化学繊維用紡糸ノズル及び周辺部品、不織布用ノズル・同装置等の設計・製造・販売を行っている。

中村超硬 [6166・100 株] 6 月 24 日 東証マザーズ市場上場

2015 年 6 月 4 日(木)
更新：18 時 14 分
株式会社フィスコ



新規公開株レポート

投資のポイント

公開規模が大きいことに加え、ベンチャーキャピタル保有比率が高いことから、需給懸念が強まるだろう。今年に入って上場した 33 社の公開価格に対する初値上昇率は平均+69.7%だが、公開規模が 30 億円を超えた 7 社では+10.2%にとどまっている。シリコンスタジオ<3907>が+102.0%となったことを除けばいずれも低調スタートを余儀なくされており、このうち 3 社は公開価格割れとなっている。産業革新機構が大株主の再生案件で、太陽電池関連ビジネスの動向や繰越欠損金の存在などリスク要因も多い。

込みで、マザーズ案件としては大型に位置付けられる。ベンチャーキャピタル保有比率も 27.9%と高く、需給面の懸念材料は多い。なお、6/24 にはエコノス<3136>が同時上場するが、こちらは札証アンビシャス上場の小型案件であり、資金分散の影響は小さいとみられる。

売上高の 45.8%を占める電子材料スライス周辺事業では、太陽電池や LED、パワーデバイスなど、今後のエネルギー関連業界で需要が伸びると予測される各種電子材料ウエハの製造工程で重要な「スライス加工」で使用するダイヤモンドワイヤの開発・製造・販売を行っている。このダイヤモンドワイヤによるスライス加工は、従来方式と比べ生産性が向上する技術であり、太陽電池市場で需要が増大している。

業績面について、2015 年 3 月期は売上高が前期比 41.6%増の 51.2 億円、経常損益が前期の 4.1 億円の赤字から 9.2 億円の黒字に転換したとみられる。一方、2016 年 3 月期は売上高が前期比 30.3%増の 66.7 億円、経常利益が同 9.8%増の 10.1 億円と、増収増益を見込んでいる。想定仮条件水準の今期予想 PER は 6 倍強で、類似企業と比較して割安感がある。

公開規模については 30 億円強となる見

銘柄紹介

中村超硬 [6166・100 株] 6月24日 東証マザーズ市場上場

2015年6月4日(木)
更新：18時14分
株式会社フィスコ

投資スタンスの見方

Aggressive (アグレッシブ)	積極的参加	投資収益率100%以上が見込まれる案件
Active (アクティブ)	やや積極的参加	投資収益率50%以上が見込まれる案件
Passive+ (パッシブ・プラス)	やや消極的参加	投資収益率20～50%未満が見込まれる案件
Passive- (パッシブ・マイナス)	消極的参加	投資収益率0～20%未満であり、マイナスの可能性のある案件
Negative (ネガティブ)	参加見送り	投資収益率がマイナスになる可能性が予想される案件

(重要事項(ディスクレマー))

株式会社フィスコ(以下[フィスコ]という)は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。

“JASDAQ INDEX”の指数値及び商標は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり一切の権利は同社に帰属します。

掲載される情報はフィスコが信頼できると判断した情報源をもとにフィスコが作成・表示したものです。その内容及び情報の正確性、完全性、適時性について、フィスコは保証を行っておらず、また、いかなる責任を持つものではありません。

本資料に記載された内容は、資料作成時点において作成されたものであり、予告なく変更する場合があります。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、事前にフィスコへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは堅く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは堅く禁じられています。

フィスコが提供する投資情報は、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。

本資料に掲載される株式、投資信託、債券、為替および商品等金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少する事もあり、価値を失う場合があります。

本資料は、本資料により投資された資金がその価値を維持または増大する事を保証するものではなく、本資料に基づいて投資を行った結果、お客様に何らかの損害が発生した場合でも、フィスコは、理由のいかんを問わず、責任を負いません。

フィスコおよび関連会社とその取締役、役員、従業員は、本資料に掲載されている金融商品について保有している場合があります。

投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

株式会社フィスコ



本資料のご留意事項

本資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。銘柄の選択、投資判断の最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

本資料は、SBI証券が、株式会社フィスコが信頼できると判断して作成したレポートを有償で提供を受けておりますが、その正確性、安全性等について保証するものではありません。本資料に掲載された意見は、作成日における判断であり、予告なしに変更される場合があります。

本資料の著作権、知的所有権等一切の権利は株式会社フィスコに帰属しますので、許可なく複製転写、引用等を行うことを禁じます。

手数料およびリスク等について

国内株式取引の手数料

・株式取引にあたっては、所定の手数料がかかります（手数料はお客様の取引コース、取引チャネル、取引プランや売買代金等により異なることから記載しておりません）。詳しくは、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は上場有価証券等書面等をご確認ください。

国内株式取引のリスク情報について

- ・国内株式の取引は、株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- ・信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、時として多額の損失が発生する可能性を有しています。
- ・信用取引の対象となっている株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、その損失の額が、差入れた委託保証金額を上回るおそれがあります。

留意点

- ・取引コースや商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、ウェブサイト、等をよくご確認ください。または最寄の支店までお問い合わせください。
- ・最終的な投資判断は目論見書の内容をご確認ください。目論見書は当該銘柄の取扱証券会社のホームページ等で入手いただけます。

商号等：株式会社SBI証券 金融商品取引業者

登録番号：関東財務局長（金商）第44号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、
一般社団法人 第二種金融商品取引業協会